



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 27 November 2017

IDFプレスリリース

2017年11月27日、ブリュッセル発

持続可能な食事における乳の役割：新しい方法を創る

国際酪農連盟は、2018年2月1から2日まで、スペインのセビリヤにおいて指導的立場にある栄養および環境の専門家を世界中から集めて、持続可能な食事における乳の役割を討議する予定である。この行事では、乳の環境および栄養的側面も同時に考えて食卓に新しい視点を提供する。

この特別講演会は、乳が栄養と環境に与える信頼性はそれぞれ単独ではありえないという考え方を反映して組み立てる。その一方、これまでの本題に関する大半の研究が示すとおり、バランスの取れた食事における乳の重要性も精査する予定。

この会議では、参加者にプレゼンテーションとコンテンツの両方を提供し、丸2日間にわたり栄養と環境の両面をカバーする。プログラムの初日は3つのセッション、持続可能な食事、栄養豊かな食事の一部として乳および乳製品を一般の人がどう捉えているかに焦点を当てる。2日目は乳が及ぼす環境的および社会経済的な影響と環境影響の緩和および気候変動への適応に焦点を当てる。

「酪農乳業は世界に栄養を届ける仕事に重要な役割を演じます。栄養と環境の清廉性に反するものには精力的に説得力をもって世界レベルで対処しなければなりません。いかなる産業も完璧というわけではなく、私たちもみんなですべて持続可能な発展を推し進めている。このような行事を主催するにあたり、IDFはこれまで同様、世界全体で情報やアイデアの交換を促進します。これらの分野で新しい進展や新しい方法の最前線に立ち続けることを誓います。」とIDF会長のジュディス・ブライアンス氏は述べた。

「持続可能性に関するいかなる仕事もシステムアプローチを採用しなければなりません。さもなければ手元にある課題の現実が反映しなくなります。持続可能な食事の活動も全く同じです。」と、IDF事務総長ニコ・ヴァン・ベルゼン氏は語った。

「この特別講演会はこれらの両面についてさらに知りたいと願う専門家を対象にしています。両方の課題がお互いに関連すべきとの確証がまだない専門家がいたなら、この特別講演会は、この問題の複雑性を理解する上で統合アプローチがいかに基本となるかを示すまたとない機会となります。」とニコ・ヴァン・ベルゼン氏は附言した。

この行事は、国際酪農連盟が企画する持続可能性に集中した一連の取り組みのなかで最新のものになる。2016年、FAOとIDFは、国連持続可能性開発目標の達成に役立つ乳の重要性を認めたデーリーロッテルダム宣言に共同署名した。この宣言では多くの原則を定めている。酪農乳業界が社会、経済、健康および環境の側面を考慮しつつ、乳システムの持続可能性を促進する統合アプローチを強調することが目的である。

このシンポジウムのプログラムは <https://www.fil-idf.org/idfevent2018/> を参照してください。

完

翻訳：JIDF事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。